

《2月定例会報告》

流通委員会の主催で行われた。今回、都立繊維試験場デザイン部アパレルデザインの北原さんにご尽力頂き講演会を開催した。加藤デザイン部長にご挨拶を頂き、北原さんの進行のもと行われた。

講師に(有)企画屋えぬ代表取締役野末和志(かずゆき)氏を迎え『洋服地とは』また、サブテーマに服地はボディ感が大事、SS/AWでは企画は出来ない!でお話をしていただいた。日本の気候の欧州、アジアとは違い日本の四季の寒暖の差に合わせた商品づくり、特に秋冬物も四段階に分け細かな対応、夏物も高温多湿の夏に合った綿クレープ、揚柳素材など快適性を重視する。生地を服にした時のシルエットを考える際は白生地から考え服地を五感でとらえる。又産地と試験場との関係についてもお話ししていただいた。最後に間近に迫った展示会の打ち合わせをして閉会した。

参加者 31名

《3月定例会のご案内》

展示会も盛況の内に終わりほっとしていることと思います。今年度最後の定例会になりました。下記のごとく3月定例会を開催いたします。今回は次年度の活動計画について考えたいと思います。ご提案をお願いいたします。

記

日時 3月7日(火)

pm 6:30 - 8:30

場所 都立繊維工業試験場
大会議室

技術委員会主催

◎テーマ『協議会のこれからの活動について』

◎その他

《第九回八王子ファッション協議会展示会報告》

実行委員長 小宮 浩

展示会も9回目を数え、多少慣れもでてきたのか実行委員会の出席が少なかったと思いました。

展示会初日、月曜日のせいに来場者数は90名弱と少なく、開催の曜日の設定を考えさせられました。二日目は来場者も切れることなく会期2日間に約300名のご来場を頂きました。コンセプトコーナーもクリエイターと産地職人の製品が並び来場者からのアンケートでも講評でした。各社ブースでは、個性を持った製品が並び特色がよく

でていました。商談スペースでは、商談の会話が盛んでスペースの狭さが気になるほどでした。

今回、文化服装学院では学生の授業の一部として取り上げていただき将来のデザイナーに受付が埋まるほど来場していただきました。何らかに形で八王子産地に還元されることと希望を持ちました。最後に、至らぬ事も多々あったと思いますが、ご協力を頂きこの書面を借り厚く御礼申し上げます。お疲れさまでした。

『協議会会員工場見学』

会員の方を対象に産地工場見学を企画しました。定例会と同じ日にしましたので引き続き定例会もご出席ください。参加希望の方は事務局までなるべくFAX(0426-27-8680)でご連絡ください。会員の方でお手伝いいただける方も連絡お願いいたします。

日時 3月7日(火) PM2:00~6:00

集合場所 都立繊維試験場駐車場
PM2:00集合

見学先予定

捺染	奥田染工場
染色	嶋野繊維研究所
整理	大恵
織物	みやしん

《協議会ホームページURL変更について》

協議会ホームページのURLが2月末より変わります。

旧 URL <http://www.j-v.co.jp/hfc>

新 URL

<http://www.jj-v.ne.jp/hfc>